



ワークショップ①の手順 ☞ 《P・D・C・A》の視点で、学校と地域それぞれがお互いを理解し合うことが大切です。

1. 本日のワークショップのテーマは、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」をめざして、【地域みんなで子どもたちの未来を考える】です。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の中で、貴校の課題、教員の困りごと、また、子どもを取り巻く地域の課題等について、学校が困っていることを軸に教職員から出された課題を解決していくために、学校と地域が協働し、何が出来るか？アイデアを出し合ひましょう。

2. ワークシート用紙に下記の要領で、熟議しながら付箋で意見を貼ったり、直接記入したりしましょう。

《手順》

【ビジョンの共有】 → 【コンセプト】・・・(ビジョン共有に向けたアイデア出し) → 【アクションプラン】・・・協働で出来ること → (優先順位)

①教員の困りごとや学校の課題等の意見（付箋、記載された内容）から地域と学校と一緒に子どもを育てる可能性を認識し、学校・家庭・地域それぞれの異なった立場から目指す「ビジョン」（目指す子ども像…どう育ててほしいか）の思いを書き出し、それぞれの思いを共有します。

②「目指す子ども像」から子どもの「現状の姿」を思い浮かべ記入します。

③問題点を発見しましょう。→ 「現状の姿」と「目指す子ども像」のギャップが問題点になります。

④学校の困りごとや課題の設定をし、何を解決するのかを整理しましょう。

→ 問題を解決するためにすべきポイント。例えば、(子どもたちについて、学校経営について、家庭・地域について、防災について等。)

⑤それぞれの立場からの解決する手立て、次に、学校と地域と一緒に出来る解決の手立てや解決方法を整理しましょう。→ 解決の手段・方法のアイデアをだしていきます。

⑥対応時期 → 学校・家庭・地域が協働で、アイデアを具体的に、いつ、どのような手続きを経て行っていくか、具体的な時期や見通しを記載し、優先順位をつけていきましょう。

